

# 皆さんは安平町と聞いて 何をイメージしますか？



取材：総務課情報グループ 亀井 紳之介

私は今年の4月に入庁し、安平町に住み始めました。

これまでに色々な場所、人、ものに触れていく中で、いくつものまちの魅力に気づきました。早来地区は酪農や軽種馬が盛んであり、追分地区は鉄道文化、一面が黄色に染まる「菜の花」といった魅力溢れる要素がたくさんあります。

そういった魅力に触れていく中、町内にいる方や町外から来られる方は安平町にどのようなイメージを持っているのか気になり、この特集を企画しました。

## 各場所を巡りインタビュー

特集のインタビューでガンケ山、町民センター、ときわキャンプ場、追分公民館、遠浅公民館、ENTRANCE、道の駅あびらD51ステーションにお邪魔し、53の方に「安平町といえば何をイメージしますか？」という質問を投げかけ、以下のようなイメージになりました。

### 町内

アサヒメロン、お年寄りが多い、ガンケ山、教育、スズラン、住みやすい、町民、特にない

### 町外

安平町スポーツセンター、国鉄、ゴルフ場、産業廃棄物、地震、ジギスカン、町自体知らなかった、ときわキャンプ場、蓮の花

### 町内外共通

馬、鹿公園、チーズ、菜の花、道の駅あびらD51ステーション

### 出てきたイメージから感じたこと

町内外問わず、「観光」「産業」の分野から多くの反応をいただきました。日本有数の馬産地であること、チーズ工場の発祥であること、美しい景観であり町内外の人を楽しませてくれる「菜の花」の存在の大きさを感じました。

町内の方だけ、町外の方だけといった回答もたくさんありました。町内に住んでいるからこそ知っていることや合併前のまちをイメージするものなど、回答にバラつきがありましたが、それだけ安平町のいろんなことを知ってもらえていることがわかりました。

